

図書館ニュース



「図書館戦争」

学長 瀧上 凱令

図書館ニュース50号の原稿「若者の読書離れ」を書いた直後に、51号の原稿が気になってしまいました。書く材料が無くなってしまったのです。何かないかと考えていたら、「若者の読書離れ」を書くのに使った「学校読書調査」の中に、中学生、高校生によく読まれた本の順位が載っていたことに気がつきました。その中に有川浩さんの『図書館戦争』という本が高順位で出てきます。とくに女性に人気があるようです。題名からみて図書館ニュースに使えるような気がしましたが、どんな本かわかりません。有川浩という名前と『阪急電車』という作品名は知っていましたが、読んだことはありませんでした。たまたま娘の書棚に『阪急電車』がありましたから読んでみました。今津線の電車に乗りたくなる、今津線の全部の駅で降りてあたりを歩いて見たくなる、そんな気にさせる本でした。これならということで『図書館戦争』を探しに本屋に行ってみると、文庫版『図書館戦争』の帯に、「有川浩が贈る本と恋の極上エンターテインメント」とありました。これを見て買う勇気を無くし、この日は別の本を買って帰りました。若い人に人気の恋愛小説を買うのはちょっと恥ずかしいという感じでした。しかし、2～3日してから、書店の店員さんの視線を気にしながら、勇気を出して買ってきました。読んでみると、これは面白いですね。

そもそもこの小説は有川浩さんが図書館で「図書館の自由に関する宣言」を見て発想したものだそうです。作家の空想力というのは不思議ですね。

図書館の自由に関する宣言の骨格部分は次のようなものです。

1. 図書館は資料収集の自由を有する。
2. 図書館は資料提供の自由を有する。
3. 図書館は利用者の秘密を守る。
4. 図書館はすべての検閲に反対する。

図書館の自由が侵されるとき、われわれは団結して、あくまでも自由を守る。

(日本図書館協会、1954年採択・1979年改訂)

小説は、公序良俗を乱し人権を侵害する表現を取り締まる法律「メディア良化法」に基づいて取り締まりを担当するために設置された「良化特務機関」と、「図書館の自由法」に基づいて図書館の自由を守るために設置された「図書特殊部隊」との「戦争」を物語にしております。もちろん法律も部隊も架空のものであります。物語は図書特殊部隊唯一の女性新入り隊員が主人公です。恋あり、ドラマあり、アクションありで、まさに「極上エンターテインメント」です。文庫版の帯に「シリーズ累計400万部突破！」とあるのも頷けます。

さて、現実の世界に戻ると、イスラム過激派「イスラム国」が図書館を襲撃し本を焼いたというニュースが出ておりました。「モスルにある県立図書館でイスラム国のメンバーが、児童書、詩集、欧米やアラブ圏の小説などを中心とした蔵書約2000冊、トラック6台分を強奪し、図書館前で焼却した。」(YAHOOニュース、2月3日読売新聞配信) 図書防衛隊が必要なのは小説の中ばかりではなさそうです。

もう一つ図書館の自由が問題になったのが、1997年に起きた神戸連続児童殺傷事件の加害男性の手記『絶歌』をめぐる問題です。この本については、出版の是非や図書館での取り扱いを巡ってさまざまな意見がありました。それに対して日本図書館協会は「図書館の自由に関する宣言」に基づいて、収集の制限・提供の制限は行わないという見解を発表しました(2015年6月29日)。

『図書館戦争』を読んで図書館の自由や表現の自由について考えるのも本の読み方の一つですが、もっと大切なことがあります。図書館ニュースの50号で本を読むのは知識や言葉を増やし考える力を養うために不可欠ですと書きましたが、その前にまず本を読むのは面白いということを体験してほしいと思います。何を面白いと見るかは人さまざまですが、『図書館戦争』は、面白いと思う人がきつというのではないかと思われる、そんな本でした。



平成27年10月31日(土) 附属図書館公開講座より

1952年 東京生まれ
1978年 東京大学大学院人文科学研究科国史学博士課程中退
1987年 文化庁文化財調査官
1992年 東京大学文学部助教授
1996年 現職
1997年 博士(文学・東京大学)
専門分野 日本古代史(特に古代都市・木簡学・古代国家財政・文化財学)
著 書 『日本古代の宮都と木簡』(吉川弘文館・1997年)
『出土史料の古代史』(東京大学出版会・2002年)
『高校日本史教科書』(詳説日本史・山川出版社) など多数
社会活動 文化庁文化審議会委員
東京都文化財保護審議会委員・史学会理事長 ほか

私は『詳説日本史』(山川出版社)という高校日本史教科書に関係しており、その経験もふまえて古代史研究の最前線と高校教科書のゆるやかな変貌の関係について、語りたい。高校日本史教科書には、日本史教育の重点を指し示す学習指導要領に従いつつ、高校レベルで学ぶべき日本史の通史を、政治・経済・社会・文化の全体像に配慮しながら公平に叙述することが求められる。偏りのない歴史像の提示にあたっては、史料にもとづいて学界の大勢となっている歴史の文脈を重視することが必要となる。主観的な歴史観に左右されることなく、あくまで学界の自律のなかで学問的に「定説」化した内容が大切になる。したがって、興味本位の珍しい新説…いわゆる「教科書を書き換えるような新発見」に、すぐに飛びつくわけにはいかない。新しい学説が学界において広く認められ、多くの研究者に共有されてから、はじめて教科書に載る段階へと移るのである。事実関係や教育的配慮について問題点がある場合には、教科書検定のなかで学問的・専門的な指摘が為され、修正の方向が検討される。こうして作られる教科書でありながら、複数各社の教科書があるように、執筆者によっても、重点を変えながら少しずつ違った歴史叙述のバラエティーが提供されているのである。

日本古代史の研究は、近年めざましい進展をみせている。その動向は、東アジアの視野から境界を越えた様々な交流の上に列島の古代史が展開したことを見直すようになったこと、新たに考古学的な発掘調査成果が蓄積されて古代史像が立体的になったこと、木簡などの出土文字資料が新しく豊かな歴史像を提供したことなどを背景としている。その上で、諸地域の古代史像が明らかになり、列島の歴史像が多元的に構成されるようになったことも、大きな動向である。古代史研究が個別細分化する一方で、遺跡・遺物など文献史料にとどまらない多様な歴史資料によって、日本列島諸地域の古代史を多角的に明らかにする方向で、あたらしい古代史が模索されつつあると思う。

こうした最近の研究成果や問題関心をできるだけ盛り込みながら、列島の古代史を改めて幅広い視野から見つめ直す方向が、高校日本史教科書にも次第に反映されつつある。教科書が突然大きく変化することはないとしても、改訂のたび毎に、学界の動向をふまえて少しずつ叙述は変貌してきた。急激ではないにしても、教科書が生き物のように変化していることは、昔の教科書と今の教科書を比較すれば、理解されよう。

高校日本史教科書で次第に変貌してきた歴史叙述の一端を紹介すると、次のような点などが挙げられるだろう。

①弥生時代の銅鐸と銅剣・銅矛の祭祀圏について

弥生時代の青銅器祭祀について、かつては畿内が銅鐸文化圏、北九州が銅剣・銅矛文化圏であるとして、邪馬台国畿内説・九州説の前提として記述されていたが、島根県で荒神谷遺跡・加茂岩倉遺跡が発見され、青銅器の出土状況からは出雲が中

心となる結果となった。それを受けて、教科書における表現は変化した。

②朝鮮半島南西部の国名の「加耶」と「任那」について

百済と新羅にはさまれた朝鮮半島南西部の「加耶」国は、小国連合的な性格と倭国と親しい関係が指摘される。加耶は、かつては『日本書紀』の記載通り倭国の出先機関「任那日本府」によって統治されたとする見方があったが、今日では、『日本書紀』の史料批判や韓国加耶地域における発掘調査成果をふまえて、独自の王権の展開があったと評価する見方が為されるようになり、そうした記述へと変わってきた。

③「天皇」号・「日本」国号の成立をめぐる

「天皇」号は、壬申の乱の勝利によって天武天皇が畿内有力豪族に対して絶大な権威を確立した結果、天武・持統天皇時代に確立したとする説が有力である。一方、七世紀はじめの推古天皇の時代ととらえる説もある。それ以前は、同時代的には「天皇」号はなく、ヤマト王権の主宰者は「大王」と称した。それは、埼玉古墳群稲荷山古墳出土の鉄剣銘文の「ワカタケル大王」の称からも知られる。また「日本」国号も、七〇一年に任命され唐に渡った三十年ぶりの遣唐使が、はじめて称したのであった。それ以前は、同時代の自称で「倭国」と呼ぶのがふさわしいことになる。

④墾田永年私財法について

かつては、三世一身の法に続く墾田永年私財法によって私有地が拡大して公地公民制の崩壊につながったとする説が強かったが、今は、耕地把握を墾田にまで広げる律令国家の積極的な土地政策であったという評価となっている。

⑤蝦夷「征討」史観について

八世紀後期に展開した律令国家の対蝦夷戦争を、かつては国家側の立場から蝦夷「征討」と位置づけたこともあったが、今では蝦夷も列島に住む人々であったことから、一方的な「征討」史観は採らない方向となっている。

⑥摂関政治像

かつては、「摂関家の政所で政策を決定した」という「政所政治」観があったが、今では摂関時代も天皇を尊重しつつ内裏での会議で政策決定が為されたことが明らかとなり、「政所政治」は死語となった。

このような高校日本史教科書の背景やその変貌のあり方をふまえた上で、日本古代史をめぐる史料解釈のむずかしさ、そして多様な歴史資料にもとづき歴史の文脈をさぐる面白さ・奥深さについて、知っていただければ有難い。その上で、自ら参考文献や資料・史料を直接調べて学習し、自ら歴史の文脈について深く考えていただければ幸いである。そうした歴史を探る醍醐味に気づけば、日本史が決して「暗記もの」ではないことを理解していただければよい。

自著を語る 「藤原種継」…………… 木本 好信(図書館長)

昨年1月にミネルヴァ書房から『藤原種継』なる一書を刊行した。ミネルヴァ書房では、先人に学ぶという趣旨から「日本評伝選」という人物伝シリーズを刊行している。

自著『藤原種継』は、その第142巻である。因みに筆者は、すでに『藤原仲麻呂』(第99巻・平成23年7月)・『藤原四子』(120巻・平成25年5月)の2冊を公刊しているから本書は3冊目になる。

藤原種継というと、一般には知名度の低い人物であるが、高校の教科書には桓武天皇のもとで平城京から長岡京への遷都を主導した人物として登場している。けれども藤原種継については、いまだ十分に研究はされておらず、いまだその人物像は曖昧模糊として明瞭になってはいない。しかし、奈良時代史研究の主な史料である『続日本紀』には、「内外のすべてのことを決定した」と記述されていることからして奈良時代末期政治史の解明には避けては通れない人物である。

本書は、上述のような藤原種継について、その実像の把握を目的としたものであって、概要はというと、まず伯叔父である藤原良継・百川兄弟が中心となって政治を領導した光仁天皇の時代(770-780)、筆者は「藤原式家主導体制期」と呼ぶのが至当だと思っているが、この時期の種継の紀伊守・近衛少将・山背守帯任の政治的役割について考え、ついで「藤原式家主導体制」が瓦解して、桓武天皇即位後の延暦年間初頭(782-

785)の長岡京造営をはじめ桓武天皇股肱の臣としての政治的使命について勘えるという二つに大別して記述している。

そのなかで政治史的にも重要な事件である称徳女帝の遺言を偽作して白壁王(光仁天皇)を擁立した事件、その光仁天皇の皇后井上と皇太子他戸親王を廃后・廃太子にしたうえで山部親王(桓武天皇)の立太子を強行した事件、桓武天皇によるライバル氷上川継、そして母である不破内親王(聖武天皇々女)、川継の岳父藤原武成の配流事件、左大臣藤原魚名の左降事件、また種継自身の長岡京での暗殺事件とその背景にある早良皇太子の追放や万葉歌人で知られる大伴家持の没死など、多くの奈良時代末期の政治動向についても詳細に閑説しながら、できるだけ正確な史実に基づき、先学の成果を生かしながら検証のうえ、筆者自身の見解を提起して、奈良時代の終焉と平安時代の開幕を演出した黒幕的政治家である藤原種継の生涯の跡をたどっている。



- ・『藤原種継』
(四六判・295頁 平成27年1月刊)
- ・木本 好信：著
- ・ミネルヴァ書房：発行
- ・3,780円(税込)

推薦図書 「さおだけ屋はなぜ潰れないのか?—身近な疑問からはじめる会計学—」… 早坂 三郎(教授)

この本は丁度十年前の最初のブームの折に、日頃から私の頭の片隅で「何でだろう?！」と何となく思っていたことが本のタイトルになっていることとミリオンセラーとの宣伝から入手したものでした。噂に違わず、面白くて一気に読めてしまい、しかも「成る程」と頷かせるものであり、非常に平明で分かり易い表現の内容でした。また、この本は一冊の本を読み上げて次の自分の読みたい本に進むという読書の虜になるための基盤となる読後満足感を得るにも持って来いの一冊になるでしょう。

著者の山田真哉さんは、多彩な才能をお持ちの会計士さんで、アニメファンとしても知られている大変な売れっ子で、この本の他にも次々に世間の耳目を集める著述・出版のみならず、ラジオ・テレビへの露出度も高い方です。この本は、日頃の身近な疑問から湧き上がる「何でだろう」の事象についての状況観察と分析、そして簡単な会計用語の解説、儲けの仕組み及び対人説得法や交渉術の説明と盛り沢山です。が実は、この説得方法は心理学的な理論とも関連するものでした。そして、結論と検証でまとめ上げるというダメ押しを含む内容です。

さて、エピソードに取り上げている「さおだけ屋はなぜ潰れないのか?—利益の出し方—」では、消費者心理を突いた購買意欲を高める説得法と付帯的な営業活動、そして竹藪商法ならぬ連結的副業創造のからくりを示されている。次のエピソードである「ベッドタウンに高級フランス料理店の謎—連結経営—」でも、近くのあるいは見知った街でイメージできる料理店

のことが取り上げられており、ここでも関連商法の可能性に言及している。また、「在庫だらけの自然食品店—在庫と資金繰り—」では、在庫の「在」に財と罪を重ね合わせ会計学的功罪と調整の必要性について説明しており、賞味期限や管理経費等の問題からは現下の過剰在庫と景気変動がオーバーラップしている現象のイメージをもたせ、「ユダヤ人大富豪の教え」を思い出した次第です。その次の、「完売したのに怒られた!—機会損失と決算書—」では、駒と指し手の立場での認識や考え方の違いが、より生産的で積極的な思考と態度をもたせることを説くものであり、目的と手段の関係の設定をスパイラル的に向上させることの重要性を訴える内容でした。その後には書かれた各エピソードでは、回転率(薄利多売)と単価の考え方やキャッシュフローで捉える計算の理解の仕方、そして数字のセンスの持ち方の例から、会計学的理解とやりくりの視点を変えさせられる一冊となりました。一度、気軽に手に取って読まれることをお勧め致します。



- ・「さおだけ屋はなぜ潰れないのか?—身近な疑問からはじめる会計学—」
- ・山田 真哉：著
- ・光文社新書：発行
- ・756円(定価)

随 想 「『身装文献データベース』に関わって学んだこと」…… 田中 昌美(教授)

新しい研究を始める場合、まず自分が選んだテーマについて、これまでどのような研究が行われてきたのか、何がまだ解明されていないのかを調べます。すなわち意義のある研究を行うためには、先行研究の探索と吟味を十分に行うことが大切です。近年では、先行研究を探し出すツールとして、特定の専門領域を対象とした文献情報データベースが作成されています。今回は、私が関わっている身装(=身体と装い)文化研究の領域における文献情報データベースの紹介と、このデータベースの作成に参加して私が学んだことについて述べてみたいと思います。

「身装文献データベース」は、身体と装いに関する論文や書籍を探し出すための索引情報を収録したデータベースであり、「服装関連日本語雑誌記事(カレント)」「服装関連日本語雑誌記事(戦前編)」「服装関連外国語雑誌記事」「服装関連日本語図書」「服装関連外国語民族誌」で構成されています。本データベースは国立民族学博物館のウェブサイトで公開^{*}されており、現在の文献データ数は約16万件となっています。

一般に特定の専門領域の研究を対象とした文献データベースの場合、その専門領域の学術雑誌や図書を中心として文献情報が収集されています。しかし本データベースの日本語雑誌記事(カレント)では、服装関連の学術雑誌だけでなく人文・社会科学の学術雑誌300誌、および商業雑誌1,300誌を対象に身装関連記事を網羅的に採録しています。具体的には、例えば文学や史学、哲学、法学、経済等の雑誌に掲載された衣類関連品、化

粧、髪型、身体変工等の記事も採録対象としているということです。本データベースでは、実際に分析者が文献を読み、検索の手がかりとなるキーワードやコードを付与しています。この作業に参加して私は服装の専門領域で通説と考え、語られていることが、他の領域では、異なる観点から研究が進められていることを知りました。つまり私はこの作業から、専門領域の知識を修得することは大切なことではあるが、それだけでは、専門性を高めたことにはならないことを学びました。

このことは研究活動だけではなく、様々な職業における専門性にも通じることであると思います。自分の考え方や、所属する職場や職域において常識とされていることに対して、ときには広い視野で見つめ直す必要があるのではないのでしょうか。

^{*} 国立民族学博物館のウェブサイトでは、この他に身装文化資料に関するデータベースとして

「身装文献データベース」

(<http://htq.minpaku.ac.jp/databases/mcd/publications.html>)

「衣服・アクセサリデータベース」

(<http://htq.minpaku.ac.jp/databases/mcd/clothing.html>)

「近代日本の身装電子年表」

(<http://htq.minpaku.ac.jp/databases/mcd/chronology.html>)

の3つのデータベースが公開されています。

推薦図書 「栄養素キャラクター図鑑 ーたべることがめっちゃくちゃ楽しくなる!」… 新宅 賀洋(教授)

テレビや雑誌で、健康で長生きするためにはどのような食べ物を食べればいいのか、生活習慣病と食べ物の関連、カロリーが低い食べ物はどれ、ダイエット関連、肌に良い食べ物は何か他、食べ物と身体について取りあげられることが多くあります。その基本となっているのは「栄養学」です。

一般的に栄養学とは、生物が体内に取り入れたいろいろな物質を基に身体の構成成分を作る、またその成分が合成されたり分解されたりする時にできるエネルギーを利用して生命活動を営む、というこれら物質の摂取と身体内での利用に関して学ぶ学問であるといわれています。

栄養のために生体内に摂取しなければならない物質を「栄養素」といい、人間では糖質・脂肪・タンパク質・ビタミン・無機質などになります(大辞林第三版)。ほとんどの栄養素は、食べ物から摂っています。栄養素は、どのような働きがあるのか、どの食べ物に多く含まれているのかなどを具体的に知ることにより、いっそう健康的な食生活を送ることができます。

そこで、「もっと栄養素について知りたい」「栄養素は難しいかも」と考えている人にもわかりやすい本を紹介します。この本は、女子栄養大学栄養クリニックとの共同で生まれた栄養素キャラクター図鑑です。知りたい栄養素をキャラクターに置き換えてあり、栄養素の働き、その栄養素を含む食べ物などがわかりやすく書かれています。出版社の本紹介では、「各栄養素

キャラクターたちには、その栄養素の働きが一目でわかる特長が盛り込まれています。タンパク質は「筋肉などのからだをつくる」ことが主な働きなので、マッチョなキャラクターなど、見ただけで特長がわかる、楽しいキャラクターたちが次々に登場します!”となっています。

栄養学を専門的に学ぶ学生以外は、栄養と聞くと難しいというイメージがあると思います。しかし、乳幼児、高齢者をそれぞれ支援する保育士・幼稚園教諭、介護福祉士にも栄養について学ぶ機会があります。また、母親になった時に栄養素のことを知っていれば、家族の健康を考える時に役に立ちます。

この本は、栄養素がキャラクターになって視覚化されて覚えやすく、栄養素同士の関連も仲間として書かれており、親しみを持ちながら楽しく学ぶことができます。

ぜひ、手に取ってください。

- ・「栄養素キャラクター図鑑 ーたべることがめっちゃくちゃ楽しくなる!」
- ・田中明、蒲池桂子：監修
- ・いとうみつる：イラスト
- ・日本図書センター：発行
- ・1,620円(定価)



最近の著作権問題について

皆さんが読書感想文やレポート、論文を書く際、「他の人が書いた文章を勝手に使用してはいけません！著作権があるので無断使用すると罰せられます。」と指導された経験があると思います。この「著作権」とは何のことで、罰せられるとはどういうことなのでしょう？

◆著作権 (copyright) とは？

映像・音楽など「創作的な表現 (著作物)」の創作者に与えられる、独占的な権利をいう。存続期間は、原則として著作者の死後50年。広義の著作権は、狭義の著作権である「著作財産権」と、「著作者人格権」に分類される。(現代用語の基礎知識2016 自由国民社発行より)

引用した文章を「」(かぎっこ)で括るなど、引用文であることを明らかにした上で、引用元の文献、参考にした文献の著者名や書名などを明記すれば、著作権の侵害にはあたりません。これを「出所の明示」と言います。ただし、引用の範囲にはいろいろな条件があります。引用部分の方が地の文より多くなっている…などは当然、認められません。

最近、著作者の死後50年存続する「著作権」についてその期間を見直す動きが出てきています。新聞やテレビなどで報道されているTPP【環太平洋経済連携協定】(Trans-Pacific Partnership Agreement)による死後70年への期間延長です。この延長が新たな問題を起こしています。すでにご存知の方も多いでしょうが、音楽大手のエイベックス・グループ・ホールディングスが、日本音楽著作権協会 (JASRAC) から一部離脱することを発表しました。作曲家や作詞家の人たちは、レコード会社、カラオケ店、飲食店 (BGM使用) など様々な場所で著作物 (曲) を使用されています。その一つ一つに著作権料を請求するのは大変なため、著作権管理事業者に管理を依頼し、徴収したものを分配してもらっています。日本音楽著作権協会 (JASRAC) は国内最大の事業者で300万以上もの曲を管理しているのですが、エイベックスは所有している10万曲の著作権管理を系列会社に移す手続きを始め、大きな話題となりました。JASRACによる独占状態が変わってくる可能性が出てきたためです。二社は管理手数料などが異なるため、競争が生じて音楽業界にも何らかの影響が出てくるかもしれません。

また、TPPではこの他にも著作権が侵害された場合には警察等による取締りに著作者の告訴が必要とされていた「親告罪」から、告訴がなくても違反があれば取り締まれる「非親告罪」として扱うことを決定させました。これにより海外などで海賊版の摘発がしやすくなる一方、日本で独自に発達してきたパロディー文化が失われる心配が出てきています。日本のアニメは世界に誇るクールジャパンとなっていますが、その人気を支える一つに原作を2次利用したコミックマーケット (コミケ) などがあります。「非親告罪」扱いになることで作家たちが活動を委縮しかねないとの声もあがっています。

このように私たちには関係がなさそうに見える著作権の問題ですが、様々な変更はCDの価格や漫画の内容にも何らかの影響を及ぼしていくかもしれません。今後の動向に少し注目してはいかがでしょうか？

◆著作権を無断で使うと？

権利の侵害

著作権のある著作物を著作権者の許諾を得ないで無断で利用すれば、著作権侵害となります。ただし、許諾なく使える場合に該当するときは、無断で利用しても著作権侵害にはなりません。また、著作者に無断で著作物の内容や題号を改変したり、著作者が匿名を希望しているのに著作物に勝手に本名をつけて発行したりすれば、著作者人格権侵害となります。さらに、無断複製物であることを知っていながら当該複製物を頒布 (有償か無償かを問わず、複製物を公衆に譲渡・貸与することをいう) したり、頒布の目的で所持する行為や、著作物に付された権利者の情報や利用許諾の条件等の権利管理情報を故意に改変する行為なども権利侵害となります。

1. 民事上の請求

上記のような権利侵害の事実があるときは、権利者は侵害をした者に対し次のような請求をすることができます。こうした請求に当事者間で争いがある場合には、最終的には裁判所に訴えて実現してもらうことになります。

- 侵害行為の差止請求
- 損害賠償の請求
- 不当利得の返還請求
- 名誉回復などの措置の請求



2. 罰則

著作権侵害は犯罪であり、被害者である著作者が告訴することで侵害者を処罰することができます (親告罪)。著作権、出版権、著作隣接権の侵害は、10年以下の懲役又は1000万円以下の罰金、著作者人格権、実演家人格権の侵害などは、5年以下の懲役又は500万円以下の罰金などが定められています。また、法人などが著作権等 (著作者人格権を除く) を侵害した場合は、3億円以下の罰金となります。さらに、平成24年10月の著作権法改正により、私的使用目的であっても、無断でアップロードされていることを知っていて、かつダウンロードする著作物等有償で提供・提示されていることを知っていた場合、そのサイトから自動公衆送信でデジタル録音・録画を行うと、2年以下の懲役若しくは200万円以下の罰金が科せられることになりました。

なお、「懲役刑」と「罰金刑」は併科することができます。

(公益社団法人著作権情報センターホームページ
<http://www.cric.or.jp/qa/hajime/hajime8.html>より)

図書館ガイダンス報告

図書館ガイダンスⅠ・クラス別受講者数
 実施時期：平成27年5月11日～6月30日

学 科	Ⅰ回生		Ⅱ回生		学科別
生活環境学科	1組	20	1組	11	41
	2組		2組	10	
幼児教育保育学科	1組		1組	37	37
合 計	Ⅰ回生	20	Ⅱ回生	58	78

図書館ガイダンスⅡ・クラス別受講者数
 実施時期：平成27年11月4日～11月27日

学 科	Ⅰ回生		Ⅱ回生		学科別
生活環境学科	1組		1組		
	2組		2組		
幼児教育保育学科	1組	38	1組		38
合 計	Ⅰ回生	38	Ⅱ回生		38

図書館では、4月の新入生対象オリエンテーションで図書館の利用方法についてガイダンスをするほか、5月と11月にも希望学生を対象としたガイダンスを実施しています。平成27年度のガイダンス参加者数は上記の通りでした。どんなガイダンスを受講したいか、皆さんからのリクエストをお待ちしています。カウンターへ気軽に声をかけてください。

<ガイダンス例>

- ① 図書館の本を探そう
- ② インターネットを使って情報収集してみよう
- ③ 相互貸借・文献複写について
- ④ 著作権について知っておこう！



- ・効果的な検索キーワードを見つけよう！
- ・実習先や就職先の情報、どうやって調べるの？
- ・雑誌論文を探してみよう！
- ・図書館に文献がなかったらどうするの？
- ・引用文献と参考文献、どこが違うの？



読書感想文優秀作

『赤毛のアン』

(L.M.モンゴメリ 著・村岡花子 訳／新潮社)

幼児教育保育学科Ⅰ回生1組 森 友紀子

『赤毛のアン』を読んで私が一番印象に残ったことは、アン＝シャーリーという主人公の魅力です。アンは初め孤児院から間違った養い親であるマッシュとマリラのところへやって来ました。マッシュはすぐにアンを受け入れ、家にいてもいいと言ってくれますが、マリラの友人であるリンド夫人には、初めて会ったその日からさんざん馬鹿にされてしまいます。しかし、どんな絶望的な時でもポジティブであろうと想像力を働かせて、いつでも明るく純粋なアンにマリラはだんだんと愛情が芽生えてきます。また、友人を大切にしたり、自らの過ちを相手の立場で考え、反省し謝ることのできるアンに、初めは嫌な顔をしていた人もだんだんとそんな顔をしなくなります。また、アンは『おそろしいかんしゃく持ち』と表現される程に怒ると大人にさんざん言いかえしたり、クラスメイトの頭で石盤を二つに割ってしまったりします。言いたいことや主張は言葉や態度で表し、決して自分を曲げることもない明るく純粋な女の子であるアン。主張や思ったことを出しすぎることはあまり良いことではありませんが、私はアンのような人間になりたいと思います。アンとその周りの人たちとのやり取りから、自分の考えを言葉にして言わなければ相手に自分をわかってもらえないし、相手にも心を開いて話をしてもらえないとしみじみと感じました。

この本を読んで印象に残ったことはもう一つあります。アンが想像力豊かな女の子ということもあってか、表現がきれいだと感じるところが多くありました。例えば、アンが見たものに対してつける名前についてです。家の近くにある『バーリー池』という池に『輝く湖水』と名付けます。『輝く湖水』と言われるだけでアンは素敵な世界観を頭に浮かべやすくなります。また、この池は作中何度もでてくるのですが、『輝く湖水』と作者がアンにセリフでなくても表記しているのがおもしろいと感じました。他にもアンが走り去る場面を『つむじ風のように』と表現しているところも私が好きな表現の一つです。『風のように』と表現するよりもアンは動きが伝わってきて、同じ風でも全然違うように感じます。文章や言葉はおもしろいと思いました。最近図書館に行くことが無くなっていましたが、また足を運ぼうと思ったそんな一冊でした。

評 赤毛のアンは舞台であるカナダのプリンスエドワード島はとて景色のきれいな場所だそうです。美しい風景の中で元気に動きまわるアンが目に浮かびます。自分の考えを言葉で表現するのは大切なことですね。

L.M.モンゴメリってどんな女性？

L(ルーシー)・M(モード)・モンゴメリ

(Lucy Maud Montgomery)

1874年11月30日～1942年4月24日



カナダの女性作家。2歳前に母と死別、母方の祖父母の農場に引き取られ、プリンス・エドワード島のスコットランド系旧家である一族に囲まれて育つ。プリンス・オブ・ウェールズ大学を終えて3年間教職に就くが、祖父の後を継いだ祖母を助けるためキャベンディッシュに戻り、郵便局業務と家事に13年間携わる。祖母の死後、婚約中の長老派教会の牧師ユー・アン・マクドナルドと結婚、夫の任地オンタリオ州に移り住み、2児をもうける。雑誌に詩や短編が採用され始めた学生時代以降、教師、郵便局助手、ハリファックスでの短い新聞記者体験、そして牧師夫人といった煩雑な日常生活のかたわら一貫して文筆に没頭し、20冊余の小説や詩集を残した。なかでも『赤毛のアン』Anne of Green Gables (1908) は、発表と同時に少女読者の絶大な支持を受け、原作者も予期せぬ7冊もの続編が作られていく。気性の激しい孤児が情愛こまやかな家庭を得て、天性の活力と豊かな想像力をのびのびと発揮する第1作でアンは際立っており、マーク・トウェインも「不滅のアリス以来の最も愛すべき少女像」と讃えた。(集英社「世界文学大事典4」・岩波書店「岩波＝ケンブリッジ世界人名辞典」より)



村岡花子ってどんな女性？

村岡 花子(むらおか はなこ)

1983(明治26)年6月21日～

1968(昭和43)年10月25日

児童文学作家、翻訳家、評論家。

本名 村岡はな。

山梨県甲府市生まれ。生後まもなく東京に転居。父がキリスト教徒だった関係で、カナダ系の東洋英和女学院高等科を卒業。英語力とキリスト教の信仰を得る。山梨英和女学院に英語講師として在任中より、雑誌「少女画報」などに短編を寄稿。東京教文館で婦人の子どもの本の編集を経て、文筆生活に入る。関東大震災による夫の会社の被害や長男の急死という不幸に見舞われながらも、1927(昭和2)年に発表したマーク・トウェインの『王子と乞丐』の翻訳が高く評価され、翻訳活動に力を注ぐようになる。代表的な翻訳に『赤毛のアン』をはじめとするモンゴメリの「アン・シリーズ」、パール・バック『母の肖像』、E.ポーター『少女パレアナ』など。創作活動も盛んで、童話集『紅い薔薇』『お山の雪』なども刊行している。また戦前にはJOAK(現・NHK)で「コドモの新聞」(子どもニュース番組)を担当、「ラジオのおばさん」と親しまれた。戦後は日本ユネスコ協会連盟副会長、日本翻訳家協会副会長など女性有識者として多くの社会活動に携わった。1960年藍綬褒章受章。(朝日新聞社「現代日本」朝日人物事典・大日本図書株式会社「日本児童文学大事典第二巻」より)

読書感想文・課題図書より

この目録はⅠ回生対象の平成27年度読書感想文・課題図書の一部です。Ⅱ回生にも読んでもらいたい本が推薦されていますのでご紹介します。

書名	編著者名	発行所	分類番号
こころの処方箋	河合 隼雄	新潮社	159
わたしが子どもだったころ(1)(2)(3)	NHK「わたしが子どもだったころ」制作グループ 編	ポプラ社	281
一生一途にー94歳正造いっちゃんの戦争体験記と57年間のまんが絵日記	竹浪 正造	廣済堂出版	289.1
講談社現代新書 自分を愛する力	乙武 洋匡	講談社	289.1
マララ 教育のために立ち上がり、世界を変えた少女	マララ・ユスフザイ	岩波書店	289.2
岩波新書 幼児期 ー子供は世界をどうつかむか	岡本 夏木	岩波書店	376.11
岩波現代文庫 食と日本人の知恵	小泉 武夫	岩波書店	383.8

書名	編著者名	発行所	分類番号
ハヤカワ文庫 ソロモンの指環 ー動物行動学入門	コンラート・ローレンツ	早川書房	481.78
食に生きて 私が大切に思うこと	辰巳 芳子	新潮社	596
100万回生きたねこ	佐野 洋子	講談社	726.5
新潮文庫 アンのかげ 村岡花子の生涯	村岡 恵理	新潮社	910.268
こころ	夏目 漱石	岩波書店 他	913.6
舟を編む	三浦 しをん	光文社	913.6
新潮文庫 赤毛のアン	L.M.モンゴメリ 村岡 花子 訳	新潮社	933

新着図書紹介目録

この目録は、平成27年4月から9月にかけて図書館で購入した図書のうち、各学科の先生方がぜひ皆さんに読んでほしいと推薦された図書の一覧です。分類番号の見方は、館内掲示の「本の探し方」を参照してください。

書名	編著者名	発行所	分類番号	書名	編著者名	発行所	分類番号
一問一答！一般常識問題集 2017年度版	木村 正男	高橋書店	336.42	わくわく音遊びでかんたん発表会 手拍子ゲームから器楽合奏まで	細田 淳子	鈴木出版	376.157
女子学生のための最強の就職面接 16年版	高嶋 悠人	成美堂出版	336.42	わらべうた手合わせ遊び 子守うた 子どもに伝えたい	細田 淳子	鈴木出版	376.157
図解 自分の気持ちをきちんと伝える技術	平木 典子	PHP研究所	361.45	気になる子の視点から保育を見直す！ 特別支援教育ONEテーマブック6	久保山 茂樹 他	学事出版	378
介護福祉士国家試験受験ワークブック 2016上・下	介護福祉士国家試験受験ワークブック編集委員会 編	中央法規出版	369	人もペットも気をつけたい園芸有毒植物図鑑	土橋 豊	淡交社	471.9
福祉住環境コーディネーター検定試験 2級・3級公式テキスト (改訂3版)		東京商工会議所	369	ぜんぶわかる骨の名前としくみ事典 部位別にわかりやすくビジュアル解説	山田 敬喜 肥田 岳彦	成美堂出版	491.16
よくわかる社会福祉第10版 やわらかアカデミズム・くわかんシリーズ	山縣 文治 岡田 忠克	ミネルヴァ書房	369	ぜんぶわかる筋肉の名前としくみ事典 部位別にわかりやすくビジュアル解説	肥田 岳彦 山田 敬喜	成美堂出版	491.169
社会福祉小六法 平成27年版	ミネルヴァ書房編集部	ミネルヴァ書房	369.1	ねじ子のぐつとくる体のみかた	森皆 ねじ子	医学書院	492.11
U-CANの介護福祉士これだけ！ 一問一答&要点まとめ(2016年版)	ユーキャン介護福祉士試験研究会 編	ユーキャン学び出版	369.17	食物アレルギーの栄養指導	海老澤 元宏 監修	医歯薬出版	493.14
介護福祉士国家試験過去問解説集<2016> 第25回～第27回全問完全解説	介護福祉士国家試験受験対策研究会 編	中央法規出版	369.17	「これだけは知っておきたい高齢者ケアにおける命を守る知識と技術 超基礎編	高野 真一郎	メディカルパブリッシャー	493.18
生活支援のための施設ケアプラン いかにケアプランを作成するか	白澤 政和	中央法規出版	369.26	看護師・介護士が知っておきたい 高齢者の解剖生理学	野溝 明子	秀和システム	493.18
身近な素材でArtクラフト 103歳も楽しめる介護現場でのアイデア集	北崎(吉島)洋子 橋本 万里子	朝日出版社	369.26	ねじ子のぐつとくる脳と神経のみかた	森皆 ねじ子	医学書院	493.73
3・4・5歳児の指導計画 保育園編 教育技術 新幼児と保育MOOK	天野 珠路	小学館	376.1	こどもの病気の地図帳	鴨下 重彦 他監	講談社	493.9
3・4・5歳児の指導計画 幼稚園編 教育技術 新幼児と保育MOOK	神長 美津子	小学館	376.1	子供が喜ぶ食物アレルギーレシピ100	海老澤 元宏 林 典子 他	成美堂出版	493.931
子どもの友だちづくりの世界 個の育ち・協同のめばえ・保育者のかかわり	岩田 純一	金子書房	376.11	カラー版 疾病の成り立ちと栄養ケア 目でみる臨床栄養学 UPDATE 第2版	医歯薬出版 編	医歯薬出版	498.58
実践!園防災まるわかりBOOK ひろばブックス	国崎 信江	メイト	376.14	栄養ケアマネジメント 栄養食事療法の実習 第10版 トレーニングガイド	本田 佳子 編	医歯薬出版	498.58
スイスイわかる保育士採用 専門試験・教養試験 <2016年度版>	保育士採用試験情報研究会 編著	一ツ橋書店	376.14	これならわかる！子どもの保健演習ノート 改訂第2版	小林 美由紀 他	診断と治療社	498.7
乳幼児の事故予防 保育者のためのリスク・マネジメント	掛札 逸美	ぎょうせい	376.14	新子どもの事故防止マニュアル 改訂第4版	田中 哲郎	診断と治療社	498.7
保育園における事故防止と安全管理	田中 哲郎	日本小児医事出版社	376.14	家庭料理技能検定過去問題集 2015 文部科学省後援	家庭料理技能検定専門委員会	女子栄養大学生涯学習センター	596.07
保育士・幼稚園教諭採用試験 問題集 <2016年度版>	保育士試験研究会 編	実務教育出版	376.14	調理師試験問題と解答 (2015年版)	日本栄養士会 編	第一出版	596.07
うごきのためのリトミックピアノ曲集	石丸 由理	ひかりのくに	376.157	100%米粉のパン&お菓子 アトピーにも安心 小麦粉、乳製品、卵を使わない	陣田 靖子	家の光協会	596.6
楽譜 ゴーゴー・リトミック1 個人でもグループでも使える	遠藤 啓子	サーベル社	376.157	おしゃべりさん おはなし30 ねえ、よんで！	さいとう のぶ	リーブル	726.5
楽譜 ゴーゴー・リトミック2 個人でもグループでも使える	遠藤 啓子	サーベル社	376.157	ピックブック 100かいだてのいえ	いらい としお	偕成社	726.5
かんたん！たのしい！室内あそびのアイデア12カ月 0～5歳	阿部 直美	エクスナレッジ	376.157	へいわってすてきだね	安里 有生 詩 長谷川 義史 画	プロンズ新社	726.5
楽しみながらからだを動かす 1～5歳のかんたんリトミック	神原 雅之	ナツメ社	376.157	ラーメンちゃん	長谷川 義史	絵本館	726.5
満点指あそび 保育実用書シリーズ	輪嶋 直幸 他	チャイルド社	376.157	漢検2級・準2級・3級過去問題集 (平成27年度版)	日本漢字能力検定協会 編	日本漢字能力検定協会	811.2
幼児のおそび大図鑑 もっともっとあそぼう！全国保育園のイチ押しあそび	あそび編集委員会	かもがわ出版	376.157	歌おう遊ぼう小学校英語アクティビティ オリジナルの歌とリズム遊びでたのしく身につく	田村 朋子 他	オブラ・パブリケーション	830.7

読書感想文 入選者と書名

- ★優秀作 幼児教育保育学科 1組37番 森 友紀子 「赤毛のアン」
 ★佳作 幼児教育保育学科 1組 4番 大槻 美咲 「窓ぎわのトットちゃん」



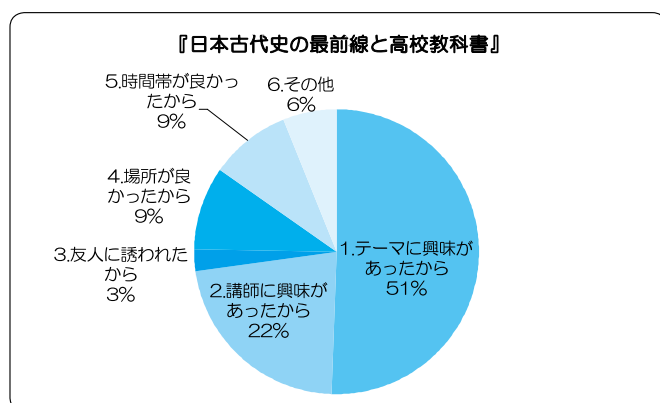
附属図書館公開講座参加者アンケート結果

東京大学大学院教授 佐藤信氏を講師に招き、『日本古代史の最前線と高校教科書』について97名の参加者にむけて講義していただきました。(講義の詳細は本誌2ページをご参照ください。)

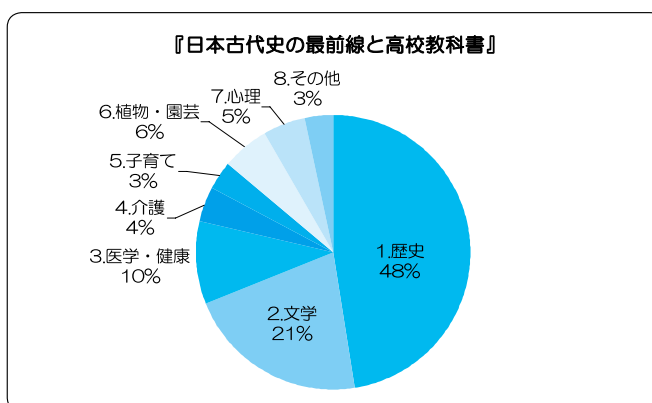
参加者は西宮市および近隣地域在住の一般市民、大学院で日本史を学んでいる院生、近隣の日本史担当高校教諭など多岐にわたり、盛況のうちに終えることができました。ここで改めてご協力をいただいた学院関係の方々に御礼を申し上げますと共に、参加者の感想をご紹介します。

10月31日(土) テーマ『日本古代史の最前線と高校教科書』・・・参加者97名(アンケート提出68名)

●講座に申し込まれた理由をお聞かせください。



●今後どのような講座があれば、参加してみたいと思われますか？



上記のグラフからもわかるように、参加者は歴史や文学に興味を持っている方ばかりでした。1時間の講義後、30分の質疑応答時間を設けたところ、予定時間を超過するほど白熱した質問が繰り広げられ、参加者のアンケートからもわかりやすい内容だったと好評を得る結果となりました。

- ・時代とともにいろいろなことが明らかになり、教科書の記載が少しずつ変わって、より正確になってきているということを楽しみました。ありがとうございました。
- ・グローバルな視点から、古代史を展望するというお話は、新鮮な印象を受けた。古代史のロマンも捨てがたいが史実にもとづき、検証することが大切であることもよく理解できた。
- ・50年以上前に高校で学んだ日本古代史が、その後の発掘調査や出土資料の研究によって大きく動いていることを楽しく学ばせて頂きました。現在の動きを考えると国際的視野に立って日本史を考えることの大切さを痛感しています。穏やかな表情で熱っぽく講義していただき、あっという間の1時間半でした。ありがとうございました。
- ・日本史が必修科目としての高校教科書から、はずされている事は、問題と思われるが、最近の事情が少し判るような話でした。有難うございました。
- ・古代史の研究が広く見直されてきたことがよく理解できました。大変興味深く聞かせていただきました。

あ・と・が・き

大学附属図書館にかぎらず、公立図書館を含めて日本の図書館は曲がり角にきています。その原因は、電子図書などの拡大化とともに活字離れという傾向のなかで図書館への関心がうすれて利用者が減少してきていることにあります。図書館は問題山積です。

さて、今号の『図書館ニュース』は、昨年の開学50周年記念の第50号特集号から通常号にもどして8頁だてになっています。しかし、学長の巻頭言は「図書館戦争」という最近の話題作をとりあげて軽妙、けれども学生には教唆に富む内容ですし、ほかの記事も興味ある内容です。どうぞ御味読ください。

今号も前号につづいて附属図書館公開講座での講演要旨を掲載しています。公開講座の開催には、理事長先生をはじめ学院本部、学長をふくめ学内の教職員の方々に多大なご尽力を賜りました。ここに深甚の謝意を表します。(館長・木本好信)



編集発行

甲子園短期大学図書館

〒663-8107 西宮市瓦林町4-25

TEL.0798 (65) 3300 / FAX.0798 (67) 9101